

滋賀県精神保健 福祉協会だより

第50号
SHIGA
精神保健福祉協会

2013.12.31

編集発行：滋賀県精神保健福祉協会

〒525- 草津市笠山八丁目4番25号

0072 滋賀県立精神医療センター 気付

TEL/FAX 077(567) 5250

http://www.mental-shiga.com

E-mail smental@ex.biwa.ne.jp

Dai-Kimoto & his
Swing Kids
www.musicplay.ch

「こころの健康フェスタ2013」が
平成25年10月20日(日)に
大津市において開催されました。



こころの健康フェスタ2013に参加して

二〇一三年十月二十日(日)、
あいにくの雨天ではありましたが、
「こころの健康フェスタ2013」
が大津市民会館を中心に盛大に開
催されました。

ロビーでは、滋賀県精神障害者
家族会連合会「楽々展」の作品が
勢揃いし、当事者や家族の方々の
色鮮やかな絵や力強い書道などの
作品が展示されました。これらの
作品には、審査を得て、滋賀県知
事賞をはじめ様々な賞が贈られて
います。

隣には「幻聴体験コーナー」も
設けられ、特殊なメガネやイヤホ
ンを付けて少し緊張した面持ちで
幻聴を体験する参加者の姿が見ら
れました。

また、大津市民会館前、琵琶湖
沿いのお祭り広場では、日本精神
科看護技術協会滋賀県支部の方々
による「こころの元気度チェック」
や「アルコールパッチテスト」の
コーナーが設けられ、飲酒の適量
について熱心に質問する相談者の
姿も見られました。

いよいよ午後一時半、小ホール
にて滋賀県精神保健福祉協会 山
田尚登会長の挨拶にてフェスタが
スタートしました。

滋賀県知事の代理として滋賀県健康福祉部の那須安穂部長から、精神保健福祉事業功労者知事表彰がセフィロト病院の松林和重氏、瀬田川病院の青木直亮氏、滋賀里病院の結城美智代氏に授与され、続いて山田会長から滋賀県精神保健福祉協会表彰がセフィロト病院の古川光氏、脇坂直隆氏、水口病院の江籠ふさ子氏、中島京子氏、滋賀八幡病院の中村實應氏に授与されました。

次に、同ホールにて、今回のフェスタの目玉である「Swing Kidsライブ」が行われました。スイスの子ども達のジャズバンドで、ジャズ音楽を通じて、多くの人々に元気と勇氣、笑顔と感動を届けたいとの思いで国際交流を続けられており、二〇一一年には、東北の被災地での演奏も行われています。

最年少の八歳の女の子を含む十六名のかわいい子どもたちが、トランペットやサクソス、トロンボーン、ドラムなどの楽器にて、大人顔負けの力強い演奏を披露しました。

会場には椅子はほとんど設置されておらず、ジャズの軽快なリズムに乗って、参加者は手拍子でリズムをとったり、中には踊りだす人もいて、音楽を通してここからからだもリフレッシュできたひと時でした。

今年の「こころの健康フェスタ」は、「音楽」をきっかけとして、皆の気持ちが一つになることを実感でき、新たな啓発の拡がりを感じられた一日だったと思います。

甲賀保健所 田村 奈那子

こころの健康フェスタ2013 アンケートから感想(抜粋)

- ・ジャズは大変よかった。
- ・感動しました、すごくよかった!
- ・とても気持ちがすっきりした。
- ・Swing Kids の演奏、素晴らしかったです! 私より年下なのに上手くてびっくりした。
- ・このフェスタの事を知らない人が多いのが残念です。
- ・楽々展の作品が素晴らしかった。
- ・日精看のブース「こころの元気度チェック」がよかった。
- ・ジャズの迫力、本当に楽しめました。踊るということもよいものですね。
- ・Swing Kids がかっこよかったです。素晴らしい演奏でした。
- ・元気が出る音楽を聴くことができました。



Swing Kids ライブ



表彰式



山田尚登会長 開会あいさつ



楽々展



楽々展



楽々展

「第6回アディクション・フォーラムin滋賀」報告



講師 水澤都加佐 氏

平成25年7月15日、ひこね燦ぱれすにおいて、「第6回アディクション・フォーラム in 滋賀」が開催されました。湖東地域で初の開催であったため、どれだけ参加者が集まるのか心配されましたが、一般住民や自助グループメンバー、医療、福祉、行政関係者など175名の参加がありました。

そもそもこのフォーラムは、「滋賀県には依存症の自助グループはたくさんあるけれど、自助グループ同士の横のつながりが無い」という、あるアディクション当事者の一言をきっかけとし、平成20年に始まりました。フォーラムも今では、アルコール、薬物、ギャンブルの自助グループだけでなく、AC（アダルトチルドレン）、EA（エモーション・アノニマス）など多岐に及ぶようになりました。

今回の体験発表では、滋賀県断酒同友会、NA、EA、JAM、AA滋賀、ナラノン、あゆの会、コールの会、GA、ACA等多数の自助グループのメンバーの参加や発表がありました。

フォーラムは、アディクションの問題を通して、当事者、家族、支援者、社会に「誰も一人では生きられない」ことを伝え、一人ではないことを伝える「場」を提供することを一つの目的としています。

今回も『仲間を見つけた、希望を見つけた～しんどい、ねむれない、生きるのつらい』というテーマのとおり、とにかく「生きにくさ」を抱えている方に、仲間を見つけてもらいたいという思いが皆さんの体験発表から伝わってきました。

お昼の休憩時間には、びわこダルクの「淡海響組」による和太鼓演奏が行われ、そのパワフルな演奏は、「この演奏を見たくて来た」という方もいるほど、人気も高く、すっかりフォーラムの名物？ともなっています。演奏の素晴らしさもさることながら、薬物依存症から回復していく姿を、また違った形のメッセージとして参加者に送っていました。

午後は、アスク・ヒューマンケア研究相談センター所長の水澤都加佐先生に『生きにくさは、どこから？人はなぜ依存するのか？』と題してご講演をいただきました。水澤先生は、アディクションの基礎知識だけでなく、人が今まで生きてきた中で背負わざるを得なかった「生きにくさ」について言及され、アディクションは目に見える依存行為、問題行動だけでなく、目に見えない不安や恐れ、孤独感などの「生きにくさ」にも焦点を当てなければならないこと、そしてその「生きにくさ」の解決、アディクションからの回復のために自助グループが必要であるとお話いただきました。

フォーラムには7つの方針があります。①希望のメッセージを発信する②回復の方法を、示す③今日も生きる、と感じてもらう④仲間が見つかるメッセージを発信する⑤回復の途上を共にする⑥様々なアディクションを示す⑦参加できる、知り合う。体験発表、太鼓演奏、水澤先生の講演からは、7つの方針がひしひしと伝わりました。

私は初めて実行委員会メンバーとして参加しました。当事者の方々の壮絶な体験、回復していく姿、力強いメッセージ、そして仲間の存在を強く感じることができました。今後このフォーラムがより発展していけるように、努めていきます。

(県立精神保健福祉センター 小西 亮)

平成25年度 滋賀県精神保健福祉協会調査研究部会 「就労と結婚を語ろう!!」 に参加して

の調査研究部会事業として平成二十年
度から県内の各圏域で行われており、
今年度で六回目を迎えました。

地域生活支援センターしろやまの豊
島所長のあいさつにはじまり、座長の
湖南クリニックの榎林医師から趣旨説
明のあと、お一人と一組のご夫婦から
メインテーマである「就労と結婚」に
ついて実体験の発表がありました。

「就労」について

一人目の方からは「就労」について
の発表でした。療育手帳の取得がきつ
かけで障害者枠の仕事を探すことがで
きるようになったけれど、不採用にな
ったこともあったそうです。晴れて現
在の会社で採用され、最初は、失敗し
てもある程度は目に見てもらえるだ
ろうと思っていたが実際にはそうでは
なく、叱られたこともあったとのこと
です。しかし、その裏側には社会や仕
事の厳しさを伝えたいという社長の思
いがあり、そこから、仕事は社会に貢
献することであり、苦労や苦難が多く
てもこれを乗り越えて自分も成長して
いくということが実感できたなど、充
実しながら働いておられることがうか
がえるご報告でした。

「結婚」について

続いて結婚二年目を迎えようとしてさ
れているご夫婦からの発表がありました。
ご主人が奥さんをお祭りに誘われたこ
とがお付き合いのきっかけとなったそ
うで、楽しい思い出もたくさんありま
すが、結婚に至るまでは、精神的に不
安定になったりのご苦労もあったよう
です。そうした中でも信頼できる主治
医やしろやまのスタッフに相談しなが
ら結婚に至ったとのことでした。また、
二人だけで今の家を探すことができた
ことも自信になったとのことでした。
人と人との縁や周りの人の支えやアド
バイスがあったからこそ、うまくやつ
てこれたという報告でした。

グループトーク

発表の後はコーヒータ임をはさみ
グループに分かれて参加者は熱心に意
見交換や質問などをされていました。
就労については同僚の理解が大切とい
うことや仕事場で怒られることも大切
であること、また結婚についてはお二
人の様子を見て結婚したいと思ったな
どの意見が出されました。



体験発表のもよう

「結婚」と「就労」は誰にとっても人
生で大きな意味を持ちます。今回の実
体験を踏まえての発表やフリートーク
をとおり、参加者の方にとってこれか
らを考えるうえで勇気づけられたり、
参考になったのではないでしょう
うか。こうした場合に関わらせていただき、
参加者の皆さんやスタッフの方と貴重
な時間を過ごせたことをうれしく思
います。ありがとうございました。

(滋賀県社会福祉協議会 藤田 健介)

平成二十五年十一月十六日(土) 十
三時三十分～十五時三十分、甲賀市に
ある地域生活支援センターしろやま
「就労と結婚を語ろう!!」が開催され
ました。当日は好天にも恵まれ、三十
数名の方が参加されました。

この催しは滋賀県精神保健福祉協会



グループトーク



地域生活支援センター しろやま

平成25年度「就労と結婚を語ろう!!」アンケート集計

■回答数 22(参加者33人、スタッフ12人) 回答率 66.6%

■感想(抜粋)

- ・ご夫婦お二人の体験談を聞き、友達のような関係をうらやましく思いました。助け合っておられるのが伝わってきました。
- ・グループトークで生の声を聴くことができてよかった。
- ・結婚したいと思っている方が多いと思いました。
- ・結婚っていいなあと思った。
- ・僕も就労と結婚、頑張ろうとおもいました。
- ・障害者でも努力すればなんとかなるということを教えられた気がします。
- ・就労の厳しさを痛感しました。その中で喜び楽しみがあるのだろうかと思いました。人間関係が難しそうだなあとも思いました。
- ・就労と結婚の願望があっても、両立させることの難しさがある。
- ・結婚にしても就労にしても、障害を持っている人には周りの理解も必要で、いろいろ苦労の中、乗り越えておられる話が聞けてよかったと思います。

(集計:協会事務局)

「認知症」のこと、「歳のせい」にいませんか？

認知症は早期に治療することで症状を遅らせたり、改善したりすることができます。

近江温泉病院は、認知症に伴うさまざまな症状に対して、専門的な治療を行う

「認知症病棟」を有しております。

認知症の診断と治療を通じて、患者さんをご家族の地域での暮らしを支えます。

ご家族の変化に気づいたら、お早めにご相談下さい。

医療法人 恒仁会 近江温泉病院

滋賀県東近江市北坂町966

TEL 0749-46-1125 FAX 0749-46-0265

ホームページ <http://www.oumi-hp.or.jp>



「ミラクルをちようだい」

Lilly
いのちの尊さにこたえます。

創業まもないイーライ・リリー大佐の薬局を訪れた少女は、
そう言いながら小さな手に握りしめていた
わずかなお小遣いを差し出しました。
母親が重い病気で、医者も周囲の大人たちも
「ミラクル(奇跡)だけが頼りだ」と話していたというのです。

創業から135年余。

まだ満たされない医療ニーズにこたえるため、
絶え間なくイノベーションを追求し、
数々の「世界初」、「ミラクル」を生み出してきました。

医療や科学技術が進歩した今も、さらなる革新的新薬を求めて
真に価値ある医薬品づくりに日々邁進しています。
患者さん一人ひとりにとっての「ミラクル」を提供するために。

<http://www.lilly.co.jp/>

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086 神戸市中央区磯上通7-1-5



家族の気持ちに、
新しい薬でこたえたい。

あなたのからだを、気遣う。

あなたのこれからを、気遣う。

そんな家族の気持ちと同じ思いを胸に、

私たちは、新薬の研究に取り組んでいます。

必要な薬を、必要になるかもしれない薬を、

いち早く準備し、安心と共にお届けできること。

今も、ずっと先も、

あなたとあなたの家族を支える力になる。

それが私たちの薬づくりです。



大日本住友製薬

www.ds-pharma.co.jp

製薬会社は、
幸せな未来を
描いているだろうか？

MSDは、医薬品やワクチンの提供を通じて、日本の、
そして世界の医療ニーズにお応えしています。そこで
思い描いているのは、皆さまのすこやかな未来。
薬の力を未来の力につなげるために。これからも
MSDは、時代を切りひらく革新性と科学への揺るぎ
ない信念で、画期的な新薬やワクチンの開発に
取り組んでいきます。

新薬で、未来をひらく。



MSD株式会社 東京都千代田区九段北一丁目13番12号 北の丸スクエア www.msdd.co.jp

伝言板

平成25年度一般科精神科連携促進事業(県委託事業) 「子どものこころの問題とその対応について」Ⅱ

日時…平成26年1月23日(木) 14:00~16:00
 場所…ライズヴィル都賀山(JR守山駅東口徒歩2分)
 内容…講演1「こどもの精神疾患と治療について」
 講師 真田 陸 先生(滋賀医科大学精神科)
 講演2「発達障害」で終わらせないために」
 講師 阪上 由子 先生(滋賀医科大学小児科)
 対象者…学校医、産業医、内科・小児科等一般科医、精神科医、
 スクールカウンセラー、教育・児童福祉関係者、家族等
 参加費…無料/事前申込み必要(定員:50人)
 問合せ…滋賀県精神保健福祉協会 事務局
 TEL/FAX 077-567-5250



平成25年度 ピアカウンセラー養成(三日間)集中講座

第1日目 平成26年3月14日(金) 13:00~17:00
 第2日目 平成26年3月15日(土) 10:00~17:00
 第3日目 平成26年3月16日(日) 10:00~17:00
 場所…地域生活支援センターまな(JR南彦根駅西口より徒歩7分)
 定員…12名(全16時間受講された方には修了証を発行)
 参加費…当事者・家族 8,000円、関係機関スタッフ等 16,000円
 お申込み・問い合わせ
 TEL 0749-23-8896(夢工房if)、23-6679(心の相談室)
 申込書はサタデーピアホームページ(<http://www.satade-pia.net>)
 からダウンロードしていただけます。

笑ってメンヘル滋賀 初笑い落語家さんと遊ぼう Part 12

日時…平成26年1月25日(土) 15:00~17:00
 場所…地域生活支援センターまな(JR南彦根駅西口より徒歩7分)
 内容…落語・笑福亭生喬さん、笑福亭寿さん
 その他 漫才、パフォーマンスなど
 参加費…500円
 連絡先…笑ってメンヘル滋賀事務局 TEL:0749-21-2192

平成25年度一般科精神科連携促進事業(県委託事業) 「子どものこころの問題とその対応について」Ⅲ

日時…平成26年3月22日(土) 13:30~16:30
 場所…ピアザ淡海 305会議室(JR膳所駅から北へ徒歩12分)
 内容…講演会とパネルディスカッション「ひきこもりに関わる問題」
 講師 境 泉洋 先生(徳島大学大学院准教授)
 岡田 眞子 先生(滋賀医科大学小児科)
 濱崎由紀子 先生(滋賀医科大学精神科)
 対象者…学校医、産業医、内科・小児科等一般科医、精神科医、
 スクールカウンセラー、教育・児童福祉関係者、家族等
 参加費…事前申込み必要(定員:72人)
 問合せ…滋賀県精神保健福祉協会 事務局
 TEL/FAX 077-567-5250



こころの会 例会

日時…平成26年2月9日(日) 13:00~15:00
 場所…県立男女共同参画センター研修室C(JR近江八幡駅南口 徒歩10分)
 内容…現在悩んでいること、薬のこと、病気のこと、等
 申込み…「こころの会」蒲生郡日野町木津192(事務局代表 吉澤康雄)
 TEL/FAX 0748-52-2918 (この会は患者会です)

編集後記

◆2020年夏季オリンピック・パラリンピックの開催地は東京に決まりました。1964年に開催されたときは、戦後復興の象徴となりましたが、今回は大震災からの復興を後押しして下さるでしょうか、何となく希望が持てそうで歓迎しますが、不安もあります。福島第一原発事故はコントロールされているとはとても言えません。

◆プロ野球では、楽天イーグルスが創立9年目で日本一となり、東北の人々を勇気づけました。多賀野出身の則本投手がバリーグ新人王となり、日本一に大きく貢献したことで滋賀県民スポーツ大賞を授与されました。

◆精神障害者は平成18年に法定雇用率にカウントされるようになったものの雇用義務化は見送られてきました。本年6月に、障害者の雇用の促進等に関する法律(雇用促進法)が改正され、精神障害者の雇用義務化が明文化されました。しかし受け入れ態勢が整っていないとして施行は5年後で、しかも施行後5年間は精神障害者を含めた雇用率算定でなくても良いという内容です。従って精神障害者雇用の本格的義務化は10年後になります。

◆それでもハローワークを通して就職した人の数を見ると、H22年度に精神障害者が知的障害者数を上回りました。H24年度では身体障害者数に迫ってきています。おそらくここ数年のうちに、精神障害者の就職件数が三障害の中で最も多くなると想われます。これまでの身体障害者、知的障害者を中心とした就労支援とは少し違った形が求められます。医療・福祉・雇用など関係機関のより一層の連携が必要となって来よう。

◆今年もたくさんの著名人が鬼籍に入りましたが、私個人としては同い年の二人の死を悼みます。一人は日本精神障害者リハビリテーション学会会長だった野中猛先生。今年7月にすい臓がんで亡くなりました。昨年5月に湖東地域こころのケア研究会を立ち上げたとき、その趣旨に賛同して6月以降毎月彦根まで足を運んで、講義と事例検討をして下さいました。昨年末にすい臓がんの告知を受け、1月以降の研究会をキャンセルされたままの別れになってしまいました。

◆もう一人は、落語家の笑福亭松喬師匠です。古典落語に磨きをかけ、6代目松鶴の芸風を最も忠実に継承者でした。一昨年末に末期の肝臓がんと診断されてからも、腹水を抜きながらギリギリまで高座を務められました。余命6ヶ月の宣告も枕して、笑いとっていました。「人を笑わすことが、一番の治癒や」と明るく舞台を務め、多くのがん患者に勇気を与えましたが、1年半の闘病のち、今年7月に帰らぬ人となりました。

◆その松喬さんの弟子の生喬さんが、H25年度笑福亭大賞を受賞されました。松喬さんの遺志をうけて、上方落語を継いで行かれます。生喬さんは毎年新年には、笑ってメンヘル初笑い落語会に出演し続けて下さっていて、来春で12周年となります。

(滋賀県精神神経科診療所協会 上ノ山)

会員数

平成25年12月15日現在

一般会員	個人会員	115人
	団体会員	35団体
賛助会員	個人会員	6人
	団体会員	7団体
サポート会員		4団体